

# 経済建設常任委員会活動報告

当委員会は、11月16、17日に茨城県大洗町及び宮城県登米市の視察研修をしました。

大洗町は、令和元年東日本台風により被災し、現在、被災箇所において防災集団移転促進事業を進めています。本市でも同様の事業を進めており、大洗町の現在の状況を視察しました。大洗町では、移転先の候補地が確立していること、県職員が町に出向することで県と町の連携がスムーズに行われていること、町からの財政負担を少しでも軽減できるよう工夫を凝らした対策を講じていくことなどを伺うことができました。

登米市では、登米市の地域ブランド認証事業とビジネスチャンス支援事業について視察しました。地域ブランド認証事業では、首都圏・近隣都市圏等のホテルや飲食店に職員が訪問し、販路の拡大や事業者の育成サポートを実施していました。また、ビジネスチャンス支援事業では、産業支援、創業支援、空き店舗活用支援の三本柱でビジネスのスタート、ステップアップを支援しており、昼食は支援を受けて実際に起業したお店を訪問しました。本事業の支援を受け、企業した事業者が地元で愛される飲食店として活躍している姿に大変感銘を受けました。

今回の視察の結果を今後の市政に活かせるよう、常任委員会委員一同取組んでまいります。

経済建設常任委員会 委員長 矢板清枝



マリントワー大洗で被災箇所の説明を受ける委員（茨城県大洗町）